

平成十一年ふくしまの教育

——主なできごと——

県教育委員会では、平成十一年をふりかえり、一年間の教育に関する様々なできごとの中から主なものをあげてみました。

「福島県立図書館情報ネットワークシステム」本稼働、また開館時間を延長

県立図書館は、四月一日から「福島県立図書館情報ネットワーク」を本稼働させ、コンピュータによる迅速・広域的なサービスを開始した。これにより、館内に設置された利用者用コンピュータでの蔵書検索や、インターネットを利用したの蔵書検索も可能になった。

また、六月一日からは、利用者の要望にこたえて、平日の開館時間を一時間三十分延長し、午後七時まで利用できるようになった。

教育情報衛星通信ネットワーク（エルネット）運用開始、「地域ネットワークセンター」オープン

教育センターでは、親局の国立

教育会館と衛星通信で結び、全国規模での教職員研修等に活用する

エル・ネット（Education Learning Network）の運用を七月から始めた。現在、教職員等中央研修講座を利用した研修会や蓄積したビデオ映像の活用等が図られているが、今後、双方向通信機能を生かして本県から全国に情報を発信したり、県内の各学校へインターネットを通じ各種講座を配信することも期待されている。

また、九月二十日、教育センター内に先進的教育用ネットワークモデル地域事業の地域ネットワークセンターがオープンし、整備された基盤設備を活用して福島県（福島市、郡山市、伊達町）と山形県（米沢市、鶴岡市）の四十一校が「先進的な教育実践に関する研究開発」を行っている。

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

本県選手団は、二十七競技で入賞を果たし、男女総合一、〇五八点、女子総合五五二・五点を獲得し、天皇杯十八位、皇后杯十五位と、ともに十位台をキープした。

特にカヌー競技の女子総合優勝をはじめ、本年より正式競技になったゴルフにおいて少年男子で三位入賞を果たし、スキー・水泳・陸上競技・テニス・ウエイトリフティング・自転車・軟式野球・フエンス・弓道・山岳・なぎなたにおいても好成績をおさめた。

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

平成十一年度から三カ年にわたる文部省委嘱事業として、総合型

地域スポーツクラブの育成・定着を支援する機能をもつ広域スポーツセンターを開設した。

広域スポーツセンターには、Jヴィレッジを指定し、有資格指導者の派遣、スポーツ交流大会・指導者講習会の開催等とおし、総合型地域スポーツクラブの全県的な普及を推進していく。

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍

「くまもと未来国体」で本県選手が活躍